

# まちの話題



## 春の農林館祭り



4月11～12日、伊佐農林高校において春の農林館祭りが開催され、多くの来場者で賑わいました。

例年人気の苗、更生之素などの農産物販売に加え、伊佐農林高校が地域とコラボして作った「キミって白いね」シリーズのお菓子や、地元農産物を詰め込んだ揚げパン「伊佐！はめちけパン」も目玉となり、市内外から訪れた客は、両手いっぱいの商品を購入していました。

また、購入した品を一輪車で運んでくれる、お馴染みの「お荷物運び隊」も登場し、あたたかい心遣いとサービスに、次の開催を待ち望む声が多く聞かれました。

## 海音寺潮五郎記念館が寄付金寄贈

伊佐市出身の歴史小説家で、県内唯一の直木賞受賞者である故海音寺潮五郎氏を顕彰する海音寺潮五郎記念館が、昨年閉館したことに伴い、4月23日、同館



から市に対して寄付金が寄贈されました。

同氏の長男で、記念館の理事長だった末富千樞<sup>ちかし</sup>さんら関係者8人が来庁され、寄付金およそ1億5千万円の目録を市長に手渡しました。

大口図書館には、同氏の著書が貯蔵された海音寺文庫のほか、復元された生前の書齋も展示してありますので、ぜひこの機会に海音寺文学に触れてみてはいかがでしょうか。

## シルバードライバースクール



4月12日、大口自動車学校で上牛尾地区の老人クラブを対象にシルバードライバースクールが開催されました。これは春の全国交通安全運動にあわせ、毎年伊佐警察署が開いているもので、この日はシミュレーターを使った講習や教習所内で実技訓練など2時間にわたり行われました。高齢者が犠牲になる交通死亡事故が増加しています。車を運転するときはしっかりシートベルトを着用し、細心の注意をはらって運転することを心掛けましょう。

毎年伊佐警察署が開いているもので、この日はシミュレーターを使った講習や教習所内で実技訓練など2時間にわたり行われました。高齢者が犠牲になる交通死亡事故が増加しています。車を運転するときはしっかりシートベルトを着用し、細心の注意をはらって運転することを心掛けましょう。

## 春の叙勲



大口下殿の花牟禮國夫さん（88歳）は、昭和60年に牧園町立高千穂小学校長で退職されるまでの37年間、学校教育の進展に尽力された功績が認められ、瑞宝双光章を授与されました。

同氏は、「これも地域の皆さんをはじめ、家族の支えのおかげ、今後は健康に留意し、趣味のグラウンドゴルフを楽しみながら、妻と2人元気で長生きしたい」と、叙勲の喜びを話していました。

おめでとうございます。

## 「いーさーくん」と一緒に 交通ルールを守ろう



毎年、市から贈られる新1年生のランドセルカバーに、今年は市公認キャラクター1号「いーさーくん」のステッカーが貼られ、4月5日、新入生203人を代表して5人に贈呈されました。

ステッカーは、交通安全協会と安全運転管理協議会が作成したもので、4月の風物詩でもある黄色いランドセルカバーが一層注目を集めるデザインとなりました。

贈呈式には、「いーさーくん」の作成者である新曾木水力発電株式会社の技術主任、小宮宗典氏も同席し、「子どもたちの交通事故防止と、運転する皆さんの交通安全意識の向上につながって欲しい」と語りました。

## 准看護学校入学式 教育理念「愛・喜び・感動」



4月5日、伊佐市医師会立准看護学校の入学式が、大口ふれあいセンターで行われました。

第50期39人の新入生は、医師会会員が中心の講師のもと、必要な知識や技術の習得はもちろん優しさを兼ね備えた准看護師となるため、学び舎での2年間、同じ夢を持つ仲間と共に免許取得をめざします。

## 新ユニフォーム贈呈



昨年7月に伊佐市と「まちづくりの推進に関する協定」を結んだヴォルカ鹿児島県の選手が、4月22日に来庁し、市長に今シーズンから一新されたユニフォームを贈呈しました。新ユニフォームの背番号は、世界トップクラスの金鉱山がある伊佐市にちなんで金色を使用しています。

また同日、忠元公園で無料サッカースクールも開催され、およそ40人の子どもたちが参加しました。

ヴォルカ鹿児島が所属する九州リーグは、この日までに第3節が終了し、現段階でリーグ2位に位置しています。5月12日には鴨池陸上競技場で試合が予定されています。首位奪還を実現させるためにも応援よろしくお願ひします。